

地球環境保全に向けた 取組みをグローバルに展開

当社は、第5次中長期取組みプランに「連結環境マネジメントの強化、推進」を掲げ活動を推進しています。グローバルの母体となる日本からは、環境・原動力に関する監査や教育、その後のフォローアップに力を注ぐことにより、海外事業体のレベルアップを支援する体制を整えています。

各拠点で活躍する仲間たち



海外事業体における環境改善

TAC (アメリカ) ダイカスト材料の予熱削減による電力量低減

材料予熱用電力
0kWh に削減

アルミ鋳造において、従来は材料を溶解する前に電気ヒータによる予熱をした後に溶解していました。この方法を見直し、少量ずつインゴットを供給し、予熱の熱源を溶解炉の排熱に切り替えることにより、予熱に使用する電力を0kWhに削減できました。



▲電気ヒータによる予熱



▲溶解炉の排熱による予熱



TRCZ 現地監査(チェコ)



レベルアップ研修会(日本)



TRCT 植樹活動(中国 天津)



TRCW 省エネ研鑽会(中国 無錫)

TRT (タイ) グリストラップ廃液量の低減

廃液量
144t/年 低減

グリストラップには、冷却剤の廃液以外に、清掃や空箱洗浄で発生する排水（一般洗浄排水）が投入され、廃液がかさ増しされた状態でした。一般洗浄排水用の洗浄場を新規に6箇所設置し、グリストラップには冷却剤廃液のみが入るように改善し廃液量を低減しました。



▲空箱の洗浄場

TRBR (ブラジル) 薬品ストレージタンク管理の強化

排水処理に使用する薬品には、薬剤の材料に転用できるものがあり、他社では薬品の盗難事件が発生しています。盗難および二次被害（盗難時に薬品がこぼれることによる水質汚濁や土壌汚染）の発生を防止するため、薬品ストレージタンクに鍵が掛けられるよう改善、日常的に残量チェックを実施しています。



▲蓋に鍵を付けた薬品タンク

TRP (フィリピン) 環境配慮型の新工場建設

CO₂削減量
80t-CO₂/年

スイッチ類の世界各地への供給拠点として、稼働を開始した新工場では、照明の全面LED化、自然採光・自然換気の採用、50kWの太陽光発電装置導入など、建設当初から環境に配慮した工場になっています。



▲50kW太陽光発電装置



日本による海外支援

グローバル監査活動

当社では、2010年より定期的に現地監査を実施しています。2014年度はTRI(インドネシア)で現地監査を実施しました。現地監査で洗い出した課題や改善事例は、グローバル施設環境連絡会にて情報共有しています。

この活動は一般的な監査のみにとどまらず、必要に応じて、レベルアップ研修会、その後のフォローアップ監査を実施することにより、海外拠点の着実な管理レベル向上を支援しています。

2014年の現地監査の実施により、グローバル監査活動の1巡目が完了しました。2015年からは、第2ステップとして、現地監査結果を基にしたグローバルなしくみ作りを実施していく予定です。

年度	実施事項
2010	アジア中国7拠点現地監査
2011	北米5拠点現地監査
2012	中国3拠点レベルアップ研修会
2013	アジア2拠点レベルアップ研修会 中国3拠点フォローアップ監査 欧州2拠点現地監査 南米・アジア2拠点現地監査 アジア2拠点フォローアップ監査
2014	TRI現地監査。 →1巡目が完了



▲レベルアップ研修会に参加した現地キーマンと関係者



▲グローバル監査



オール東海理化で さまざまな環境取組みを実施



グローバル施設環境連絡会

当社では毎年、海外事業体連絡会の中でグローバル施設環境連絡会を開催しています。グローバル監査活動の成果報告や、各事業体の抱える課題について意見交換を行っています。

また、国内で発生した不具合事例紹介により、同じ不具合が繰り返されないよう情報を共有し、未然防止につなげています。この連絡会を通し、各事業体で今後必要となる対応について全員で協議し、活動の方向性を統一しています。

TRI(インドネシア)におけるISO14001認証取得支援

TRIでは、本格始動に伴いISO14001を取得するため、日本から専門スタッフを派遣し、15日間の支援を行いました。現地の環境マネジメントシステムの強化を目的に内部監査を実施し、課題を現地スタッフとともに改善し、認証取得をサポートしました。また、翌年も現地サポートを実施し、スパイラルアップができていることを確認しています。



▲現地でのサポート